

(ウ) 第2期経営計画の推進に向けた取組みと成果

基本方針		基本目標		戦略		R4年度の実績と成果		R5年度の実績	
救急医療、成育医療及びがん診療を柱に、高度で専門的な医療を提供します	救急医療	救命救急センターとして、鹿児島県の救急医療体制の充実に貢献します	①	救急医療機関との連携促進及び地域の救急医療体制の充実に貢献	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターホームページの充実 救命救急センターにおけるシフト制の導入（試行） 救命救急センターの体制強化を目的とした薬剤師1名の増 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター充実段階評価 <u>A評価</u>（当院の評価：92/100点、94点以上がS評価） 	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター充実段階評価の中間評価実施（R5.7月） ⇒S評価の取得（評価対象期間：R5.1月～12月） 			
			②	救命救急医療のさらなる高度化					
			③	多様な救急疾患に対応できる診療体制の構築					
			④	救急医療に携わる人材の確保・育成					
			⑤	救命救急センター充実段階評価のS評価取得					
	成育医療	総合周産期母子医療センター・成育医療センターとして、一貫した医療を提供します	①	MFICUの拡充と成育医療のさらなる高度化	<ul style="list-style-type: none"> 成育医療センターホームページの充実 新生児内科におけるシフト制の導入（試行） 4階病棟の改修（8床を新生児回復室から産婦人科病床へ転換） 	<ul style="list-style-type: none"> 新生児用ドクターカー（このとり号）の更新 産婦人科、新生児内科におけるシフト制の導入（試行） 			
			②	産科・新生児・小児救急医療の24時間体制の充実					
			③	地域医療機関との連携促進及び地域の成育医療システムの充実に貢献					
			④	成育医療に携わる人材の確保・育成					
	がん診療	高度型の地域がん診療連携拠点病院に求められる医療ニーズに応じた高度で専門的な医療を提供します	①	がん診療機能を集約したがんセンターの設置	<ul style="list-style-type: none"> がん診療特設ホームページの充実 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 外来化学療法患者数 R3：8,318人 ⇒ R4：8,867人（+549人） 	<ul style="list-style-type: none"> 内視鏡下手術支援ロボット（ダヴィンチ）の使用診療科の拡大 ⇒ 呼吸器外科 			
			②	がんの手術・化学療法等の高度化					
			③	あらゆるがんに対応できる診療体制の充実					
④			緩和ケアなどがん患者に寄り添った包括的ながん診療体制の充実						
⑤			がん診療を行う地域の医療機関との連携の推進						
総合診療	総合病院として診療機能の充実に努めます	①	急性期病院として様々な疾患に対応できる総合診療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> R5職員定数（R4.4.1時点との比較） 医師：7人増 看護職員：13人増 医療技術職員：18人増 事務職員：9人増 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> DPC標準病院群に指定（R4～R5） ⇒DPC特定病院群への再指定に向け、DPCプロジェクトチームにおいて、診療密度向上のための取組みと効果検証を実施 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーション科の設置 DPC標準病院群に指定（R4～R5） ⇒DPC特定病院群への再指定に向け、DPCプロジェクトチームにおいて、診療密度向上のための取組みと効果検証を実施 				
		②	認知症ケアなど少子高齢化に伴いニーズが高まる高齢者医療の強化						
		③	糖尿病や腎臓病など生活習慣病診療の充実						
		④	増加する手術へ対応する手術部門の拡充						
		⑤	クリニカルパスを活用した在院日数の適正化						

基本方針		基本目標	戦略	R4年度の取組みと成果	R5年度の取組み
2	患者や家族に寄り添い、安全で信頼される医療を提供します	患者目線に立った医療を提供するとともに、チーム医療による医療安全活動の活性化を図ります	① 患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> 臨床検査室認定（ISO 15189）の取得準備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒臨床検査技師1名増 ⇒生化学・免疫自動分析装置等の機器更新 ⇒臨床検査部検体部門のレイアウト変更 わくわく看護展の実施開始 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査（入院：94%、外来77.7%） 	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理室を医療安全管理部へ再編成 感染対策室を感染制御部へ再編成 臨床検査室認定（ISO 15189）の取得準備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒申請（R5.7月） ⇒審査 ⇒ISO認定取得（R6.3月予定） 患者満足度調査の実施（R5.10以降実施予定） 看護部特設ホームページの充実
			② 臨床検査室認定（ISO 15189）の取得		
			③ 医療事故（インシデント、アクシデント）の発生抑制		
			④ ホームページ等の充実による情報発信力の強化		
3	地域医療機関との連携を進め、地域医療の充実に努めます	医療連携の強化により、高度急性期・急性期病院として地域のかかりつけ医との機能分化を図ります	① 初診紹介患者のWeb予約の拡充による登録医療機関の増	<ul style="list-style-type: none"> 初診紹介患者のWeb予約画面リニューアル（リニューアル前：月平均7.9件 →リニューアル後：月平均20件） 退院支援システム（CAREBOOK）の導入・試行 医療連携室の改修（事務所の拡張） 初診時及び再診時選定療養費の改定（R4.10～） 	退院支援システム（CAREBOOK）の本格稼働
			② 紹介率・逆紹介率の向上		
			③ 患者の入退院支援の充実		
			④ かかりつけ医との連携促進		
4	職員の教育、研修及び研究を奨励し、医療水準の向上に努めます	高い専門性を備え、地域医療に貢献する質の高い医療人の確保・育成に努めます	① 特定看護師や診療看護師等の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 専門資格業務手当の創設（特定看護師：11名、診療看護師：1名） 特定行為研修センター（院外生の募集開始、開講科目の拡充） R4年度医学博士取得者数 1名 	<ul style="list-style-type: none"> 看護部におけるチューター制度の導入 専門資格業務手当の拡充（対象に専門看護師及び認定看護師を追加）
			② 専門研修プログラム及び資格取得支援の充実		
			③ 大学院連携講座の充実		
5	ワークライフバランスに留意し、やりがいと充実感の持てる職場づくりに努めます	職員がやりがいと充実感の持てる職場環境づくりに努めるとともに、働き方改革への取り組みを進め、職員の負担軽減を進めます	① タスクシフト、タスクシェアリングの推進	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革プロジェクトチームによる検討（医師の時間外労働時間上限規制の適用開始に向けた取組の検討：タスクシフトや自己研鑽の労働時間の取扱いなど） 夜間看護手当に加算額を新設（R4.12～） 救急科、新生児内科におけるシフト制の導入（試行） DXプロジェクトチームによるDXの具体的方策の検討 DX先進地視察：飯塚病院（福岡） 	<ul style="list-style-type: none"> 宿日直許可申請（内科、救急科病棟、その他の診療科においても勤務実態を踏まえた申請を予定） タスクシフトの検討 手術室業務改善システム（オペラマスター）の導入 女性活躍アドバイザーの活用による労働環境改善策の検討 電子処方箋の運用開始（R5.5月） RPAの導入による定型業務の自動化（R6.10月予定） DX推進ビジョンの策定（R6.11月予定） スマートフォンの導入（R6.2月予定）
			② 医師のシフト制勤務の導入		
			③ ICTの活用による職員の負担軽減		
			④ 男性職員の育児休業取得の促進		
6	健全経営に努め、医療ニーズに応え絶えず進化する病院を目指します	地域医療を担う県下の中核的医療機関として、将来にわたって高度で専門的な医療を提供するため、再整備を行い健全経営に努めます	① 再整備による診療機能や診療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 病院再整備基本設計 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> （R4年診療報酬改定） 急性期充実体制加算（増収効果：119,528千円） 看護職員処遇改善加算（増収効果：50,107千円） 	<ul style="list-style-type: none"> 病院再整備基本設計（R4.10月～R5.5月） 病院再整備実施設計（～R6.3月） R6年度～R9年度 建築工事（増築棟） R10年度～R11年度 改修工事（既存棟） （R4年診療報酬改定への対応） 重症患者初期支援充実加算など加算取得に向け、体制の整備について検討 （R6年診療報酬改定への対応） 診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の同時改定についての情報収集及び加算取得の検討
			② 病床再編による人員体制の拡充		
			③ 新たな診療報酬加算の積極的な取得による収益の確保		
			④ 運営経費や設備投資の適正化と徹底的なコストの削減		
			⑤ 経常収支比率及び医業収支比率の100%超えの達成		